

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
320220	X-21-B-2-320220			【1・2年次生】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1・3年次生】経営情報学部経営学科 【1・3年次生】経営情報学部情報システム学科 【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース 【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門 専門 専門 × × ×	選択必修 選択必修 選択 × × ×	2年 3年 3年 × × ×
授業科目	担当教員		1	後期			
ロシア語4bA(新カリ:2年次用)	水上 則子						

授業目的

高度な語学運用能力を身に付ける。具体的には以下の通りで、ロシア語3に引き続同じテキストの30～36課をもって文法、語彙、会話法をマスターするように心がける。練習問題などは教員が用意する。

各回の授業内容

第1回 【授】 第30課 本文の解説と練習 【前・後】【予習: 1時間】文法事項や語彙の復習 【復習: 2時間】指定箇所の暗唱	第9回 【授】 第34課 本文の解説と練習 【前・後】【予習: 1時間】文法事項や語彙の復習 【復習: 2時間】指定箇所の暗唱
第2回 【授】 第30課 本文の練習 【前・後】【予習: 1時間】文法事項や語彙の復習 【復習: 2時間】指定箇所の暗唱	第10回 【授】 第34課 本文の練習 【前・後】【予習: 1時間】文法事項や語彙の復習 【復習: 2時間】指定箇所の暗唱
第3回 【授】 第31課 本文の解説と練習 【前・後】【予習: 1時間】文法事項や語彙の復習 【復習: 2時間】指定箇所の暗唱	第11回 【授】 第35課 本文の解説と練習 【前・後】【予習: 1時間】文法事項や語彙の復習 【復習: 2時間】指定箇所の暗唱
第4回 【授】 第31課 本文の練習 【前・後】【予習: 1時間】文法事項や語彙の復習 【復習: 2時間】指定箇所の暗唱	第12回 【授】 第35課 本文の練習 【前・後】【予習: 1時間】文法事項や語彙の復習 【復習: 2時間】指定箇所の暗唱
第5回 【授】 第32課 本文の解説と練習 【前・後】【予習: 1時間】文法事項や語彙の復習 【復習: 2時間】指定箇所の暗唱	第13回 【授】 第35課 本文の練習 【前・後】【予習: 1時間】文法事項や語彙の復習 【復習: 2時間】指定箇所の暗唱
第6回 【授】 第32課 本文の練習 【前・後】【予習: 1時間】文法事項や語彙の復習 【復習: 2時間】指定箇所の暗唱	第14回 【授】 第36課 本文の解説と練習 【前・後】【予習: 1時間】文法事項や語彙の復習 【復習: 2時間】指定箇所の暗唱
第7回 【授】 第33課 本文の解説と練習 【前・後】【予習: 1時間】文法事項や語彙の復習 【復習: 2時間】指定箇所の暗唱	第15回 【授】 第36課 本文の練習 【前・後】【予習: 1時間】文法事項や語彙の復習
第8回 【授】 第33課 本文のディクテーション 【前・後】【予習・復習各1時間】本文の音読と筆写	第16回 【授】 定期試験

成績評価方法

各課本文の一部を暗唱課題とし、授業時間内に一人ずつ暗唱を行ってもらって、点数化します。ディクテーションを行った際は採点し、点数化します。

この二つを集計して60点満点に換算し、平常点とします。

定期試験は40点満点で実施し、平常点と試験の結果を合計して成績とします。

教科書・参考書

佐藤純一著、「NHK 新ロシア語入門」 NHK 出版

受講に当たっての留意事項

授業開始時に暗唱試験を行うので、遅刻した場合は0点となることがある。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
×		○

学習到達目標

第30課～36課の内容をよく理解するとともに、ロシア語の読み・書きに習熟し、話し・聞く能力と合わせて、実践的な語学力が身につく

JABEE

【授】: 授業内容【前・後】: 事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
320220	X-21-B-2-320220						
授業科目	担当教員						
ロシア語4bA(旧カリ:3年次用)	ライーサ プラーソル	1	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1~3年次生】経営情報学部経営学科 【1~3年次生】経営情報学部情報システム学科 【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース 【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門 専門 専門 × × × ×	選択必修 選択必修 選択 × × × ×	2年 3年 3年 × × × ×

授業目的

ロシア語1・2・3・基礎文法の導入に引き続き、基本的な知識を整理し、発展させながらロシア語の運用能力を高めることを目的とする。文法知識を体系的に整理することを目標とし、特に「話す」「聞き分ける」能力を身に付けるための訓練には十分な時間を割く。

各回の授業内容

第1回	【授】 テキストの第32課 (1) Ему шестьдесят два года 本文の説明と解説 【前・後】 予習・復習 (1時間)	第9回	【授】 テキストの第36課 (1) Один человек пришёл в ресторан 本文の説明と解説 【前・後】 予習・復習 (1時間)
第2回	【授】 テキストの第32課 (2) Ему шестьдесят два года 応用会話練習 【前・後】 予習・復習 (1時間)	第10回	【授】 テキストの第36課 (2) Один человек пришёл в ресторан 応用会話練習 【前・後】 予習・復習 (1時間)
第3回	【授】 テキストの第33課 (1) В булочную вошла маленькая девочка 本文の説明と解説 【前・後】 予習・復習 (1時間)	第11回	【授】 テキストの第37課 (1) Мальчик, который гулял по платформе 本文の説明と解説 【前・後】 予習・復習 (1時間)
第4回	【授】 テキストの第33課 (2) В булочную вошла маленькая девочка 応用会話練習 【前・後】 予習・復習 (1時間)	第12回	【授】 テキストの第37課 (2) Мальчик, который гулял по платформе 応用会話練習 【前・後】 予習・復習 (1時間)
第5回	【授】 テキストの第34課 (1) Как дела у моего сына? 本文の説明と解説 【前・後】 予習・復習 (1時間)	第13回	【授】 テキストの第38課 (1) Станция, от которой мы только что отъехали 本文の説明と解説 【前・後】 予習・復習 (1時間)
第6回	【授】 テキストの第34課 (2) Как дела у моего сына? 応用会話練習 【前・後】 予習・復習 (1時間)	第14回	【授】 テキストの第38課 (2) Станция, от которой мы только что отъехали 応用会話練習 【前・後】 予習・復習 (1時間)
第7回	【授】 テキストの第35課 (1) Вы очень похожи на меня 本文の説明と解説 【前・後】 予習・復習 (1時間)	第15回	【授】 期末試験
第8回	【授】 テキストの第35課 (2) Вы очень похожи на меня 応用会話練習 【前・後】 予習・復習 (1時間)	第16回	

成績評価方法

期末試験の結果(70%)と出席率(30%)によって成績を評価する。
定期試験や授業内小テストのフィードバックとして定期試験の全般的な講評を行う。

教科書・参考書

①藤純一、新ロシア語入門 NHK出版 1999 ②研究者露和辞典等 ③教員が用意した練習プリント

受講に当たっての留意事項

①毎回宿題あり ②欠席が3分の1を超えた場合は期末試験の受験を認めない

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表等)の実施
×		○

学習到達目標

教科書の基本例文を完全に習得すること。テキストに説明されている高度な文法を習得し、文章の読解能力を身に付けること。学習者が外国旅行等際に必要に応じて簡単な会話ができるよう。高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会なる多文化状況にあってポジティブに協調的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につけていること。

JABEE

【授】: 授業内容 【前・後】: 事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
320220	X-21-B-2-320220						
授業科目	担当教員						
ロシア語 4bB (旧カリ: 3年次用)	中谷 昌弘	1	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1・3年次生】経営情報学部経営学科 【1・3年次生】経営情報学部情報システム学科 【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース 【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門 専門 専門 × × × ×	選択必修 選択必修 選択 × × × ×	2年 3年 3年 × × × ×

授業目的

高度な語学運用能力を身に付けます。具体的には以下の通りです。

ロシア語 3 に引き続き同じテキストの 33~38 課をもって文法、語彙、会話法をマスターするように心がける。文法の練習問題などは教員が用意する。

各回の授業内容

第 1 回	【授】 第 33 課 形容詞変化のまとめ 語尾にアクセントを持つ形容詞の変化 形容詞の形をした名詞の格変化 【前・後】 【必要な時間: 1 時間】文法事項の予習復習	第 9 回	【授】 第 36 課 動詞の体 (4) 本文 (1) 【前・後】 【必要な時間: 1 時間】本文の予習復習
第 2 回	【授】 第 33 課 形容詞変化のまとめ 本文 (2) 【前・後】 【必要な時間: 1 時間】本文の予習復習	第 10 回	【授】 第 36 課 動詞の体 (4) 練習問題と会話練習 【前・後】 【必要な時間: 1 時間】練習問題および会話練習の予習復習
第 3 回	【授】 第 34 課 代名詞変化のまとめ (2) 所有代名詞・指示代名詞 エトオト の変化 【前・後】 【必要な時間: 1 時間】文法事項の予習復習	第 11 回	【授】 第 37 課 関係代名詞 (1) 再帰代名詞 セルヤ 不規則動詞 ダТЬ と есть 【前・後】 【必要な時間: 1 時間】文法事項の予習復習
第 4 回	【授】 第 34 課 代名詞変化のまとめ (2) 本文 (1) 【前・後】 【必要な時間: 1 時間】本文の予習復習	第 12 回	【授】 第 37 課 関係代名詞 (1) 本文 (2) 【前・後】 【必要な時間: 1 時間】本文の予習復習
第 5 回	【授】 第 34 課 代名詞変化のまとめ (2) 練習問題と会話練習 【前・後】 【必要な時間: 1 時間】練習問題および会話練習の予習復習	第 13 回	【授】 第 38 課 関係代名詞 (2) クオトローリイ の補足と КТО, ЧТО 【前・後】 【必要な時間: 1 時間】文法事項の予習復習
第 6 回	【授】 第 35 課 形容詞の短語尾形 本文 (1) 【前・後】 【必要な時間: 1 時間】本文の予習復習	第 14 回	【授】 第 38 課 関係代名詞 (2) 本文 (1) 【前・後】 【必要な時間: 1 時間】本文の予習復習
第 7 回	【授】 第 35 課 形容詞の短語尾形 練習問題と会話練習 【前・後】 【必要な時間: 1 時間】練習問題および会話練習の予習復習	第 15 回	【授】 第 38 課 関係代名詞 (2) 練習問題と会話練習 【前・後】 【必要な時間: 1 時間】練習問題および会話練習の予習復習
第 8 回	【授】 第 36 課 動詞の体 (4) 体の形成の一般原則 【前・後】 【必要な時間: 1 時間】文法事項の予習復習	第 16 回	【授】 期末試験 【前・後】 試験準備

成績評価方法

授業態度・授業への参加にて 25%, 課題またはレポートにて 5%, 定期試験によって 70% の成績を評価する。定期試験は、ポータルや掲示板にて平均点などを公表し、講評を加える。

教科書・参考書

佐藤純一著『新ロシア語入門』、NHK 出版、2001 年。

受講に当たっての留意事項

- この授業では、前回の授業の復習をかねた小テスト（復習テスト）を授業の最初に実施します。この小テストは、あくまで出席を取る代わりに行われるもので、小テストの点数自体は成績には直接反映されません。前回の授業で自分がどのくらい理解したのかを知る目安にしてください。小テストの内容については、各授業の終わりに毎回指示します。なおこの小テストをもとに定期試験を実施します（試験時は持込み不可）。
- 上記 15 回のうち 1 回分を課題またはレポートで代替します。詳細については、授業中に指示します。
- 欠席が三分の一以上になると受験資格がなくなります。なお 2 回の遅刻で 1 回の欠席とみなします。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表 等）の実施
○	これまでのロシア語新聞翻訳等の実務経験などを基に、文法だけでなく、ロシアの様々な歴史や文化についても指導する。	○

学習到達目標

形容詞や代名詞の格変化を習得するとともに、関係代名詞について理解できるようになることを目標とする（ロシア語 4a, 4b に共通）。

JABEE

【授】: 授業内容 【前・後】: 事前・事後学習